

リスクコミュニケーションに関する取組について

リスク分析の考え方にに基づき、リスク管理、リスク評価を実施する関係行政機関が連携して、リスクコミュニケーションを推進している。食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、環境省では、それぞれの担当官による4府省リスクコミュニケーション担当者会議を隔週で開催するなど調整を図りつつ、従来型の一方向的な情報提供にならないよう、分かりやすい情報の提供や御意見募集など双方向のコミュニケーションの実現に努めている。

第37回リスクコミュニケーション専門調査会（平成20年4月23日）での報告以降、食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省が連携して実施した意見交換会・説明会等は、以下のとおりである。

1. 意見交換会・説明会等の実績（平成20年4月1日～平成20年6月20日）

(1) 3府省連携

No.	開催日	会議名・主催	開催地
		講演テーマ・講演者	参加人数
1	5月19日	体細胞クローン家畜由来食品に関する説明会	東京都
		「体細胞クローン家畜に関する我が国及び諸外国の状況について」 ①体細胞クローン技術を用いた家畜に由来する食品について 鈴木 章記（厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課 新開発食品保健対策室バイオ食品専門官） ②我が国における体細胞クローン家畜の研究開発の現状について 渡邊 伸也（(独)農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所 高度繁殖技術研究チーム上席研究員） ③クローン牛の食品としての安全性の研究 （厚生労働科学研究平成11年度～平成14年度） 熊谷 進（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）	149名

2	5月23日	体細胞クローン家畜由来食品に関する説明会	大阪府
		「体細胞クローン家畜に関する我が国及び諸外国の状況について」 ①体細胞クローン技術を用いた家畜に由来する食品について 鈴木 章記（厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課 新開発食品保健対策室バイオ食品専門官） ②我が国における体細胞クローン家畜の研究開発の現状について 渡邊 伸也（(独)農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所 高度繁殖技術研究チーム上席研究員） ③クローン牛の食品としての安全性の研究 （厚生労働科学研究平成11年度～平成14年度） 熊谷 進（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）	141名
3	6月13日	食品に関するリスクコミュニケーションー食品からのカドミウム摂取に関するリスク評価についてー	大阪府
		「食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について」 香山 不二雄（食品安全委員会化学物質・汚染物質専門調査会専門委員）	45名
4	6月18日	食品に関するリスクコミュニケーションー食品からのカドミウム摂取に関するリスク評価についてー	東京都
		「食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について」 香山 不二雄（食品安全委員会化学物質・汚染物質専門調査会専門委員）	65名

(2) リスク評価機関（食品安全委員会）主催

No.	開催日	会議名・主催	開催地
		講演テーマ・講演者	参加人数
1	5月20日	遺伝子組換え微生物を利用した食品の安全性評価基準案に関する意見交換会	東京都
		①「微生物と食品、そして遺伝子組換え技術について」 正木 春彦（東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命工学専攻 分子育種学研究室教授） ②「遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準案作成の経緯」 澤田 純一（食品安全委員会遺伝子組換え食品等専門調査会座長） ③「遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準案の概要」 五十君 静信（食品安全委員会遺伝子組換え食品等専門調査会専門委員）	58名

2. 今後の予定

関係者のニーズ等を踏まえ、随時開催していく予定。